

岩手県
花巻市



概要

人口減少と高齢化が進行し「このままでは限界集落になってしまふ」という危機感から、農業体験を通じた高齢者、障がい者、子どもの交流を目的とした「福祉農園」を設置。福祉農園を中心に、地域ぐるみで特産物の生産、加工、販売や景観形成活動、高齢者の生活支援などに取り組み、移住者の定着にもつながっている。



地区の現状・課題

<活動の規模> 小学校区

花巻市高松第三行政区は、近年の少子高齢化の進行が進み、コミュニティ機能も脆弱化している。

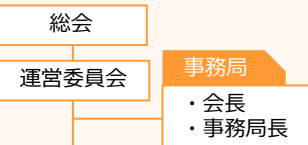
また、高齢化による農業の担い手不足や公共交通機関がないがために高齢者の通院や買い物が出来ない等の課題に直面した。

「このままでは限界集落になってしまう。」という危機感から、地域ぐるみで高齢者の生活支援や交流などの取組を展開している。

体制図

<組織形態> 一体型

高松第三行政区ふるさと地域協議会



- ・地域住民 ・花巻市 ・やさわこども園
- ・やさわの園 ・JAいわて花巻
- ・花巻中央地域包括支援センター
- ・花巻市社会福祉協議会

岩手県立大学
東北福祉大学
社会福祉学部
総合マネジメント学
部

連携

課題に対する主な取組

福祉農園と6次産業化

福祉や交流を目的に遊休農地を活用した福祉農園を設置し、里山に自生している樹木（ガマズミ、ナツハゼ）を植栽。収穫した果実はゼリーに加工、特産物として販売。



関係人口の創出

福祉農園の他、遊休農地を活用した貸し農園を設置・運営。地域内外の人々が交流する場となっている。集落から離れた親族などを対象に集落の作物を通信販売する「ふるさと宅配便」を実施。



生活課題解決に向けた取組

誰もが安心して暮らせる持続可能な地域を目指し、高齢者を対象とした自動車による買い物等への付き添い支援、配食サービス、見守り活動にも取り組む。



8団体と協働によるビジョンの策定

岩手県立大学や花巻市等8団体と連携しWSや研修会を重ね「農村版地域包括ケアシステム構築ビジョン」を策定。



取組の効果

福祉農園では高齢者、障がい者、子どもが収穫体験等を通じて、表情が明るくなるなど精神面や教育面でもポジティブな効果発現。加工品は約1万個販売。

貸し農園・福祉農園の収穫・交流会には多くの参加者が訪れ、令和元年の関係人口は1,800人となっている。「ふるさと宅配便」は毎年100個の販売実績があり、集落内外の関係維持にも貢献している。

付き添い支援は平成30年度で122件の利用。貴重な交通インフラとして地域に定着。他の取組も対面によりコミュニケーションが生まれ、高齢者の楽しみの一つ。

住民主体で策定したビジョンにより、自分たちが目指す姿が「見える化」でき、地域課題を「自分事」と捉えることが出来た。

組織・取組の発展プロセス（活動当初から農林漁業の振興と生活支援等の両方の取組を実施）

取組のきっかけ

平成20年、「このままでは限界集落になってしまう」という危機感から、行政区内の全世帯（66世帯）を会員とした協議会を設立。平成23年に岩手県立大学との連携により「ふるさと交流福祉計画」を策定し、農業・福祉・交流を柱に活動。令和元年度「農村版地域包括ケアシステム構築」を策定。

平成20年～ 住民総参加の景観形成活動

手入れされていた、かつての景観を復元しようと地域住民総参加の景観形成活動を展開。参加数は年間で延べ500人。



農林水産省「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」による地域づくり活動を開始。

平成23年から岩手県立大学社会福祉学部による支援。（宮城好郎教授）

平成22年～ 関係人口の創出

遊休農地を活用した貸し農園の設置、運営。貸し農園、福祉農園の収穫・交流会には多くの参加者が訪れ、令和元年の関係人口は1,800人となっている。「ふるさと宅配便」は毎年100個の販売実績があり、集落内外の関係維持にも貢献している。



集落から離れた親族などを対象に集落の農作物を通信販売する「ふるさと宅配便」実施に向けたアンケートを実施。

平成23年～ 福祉農園の設置と6次産業化

地域の高齢者等の福祉や交流を目的に遊休農地を活用した福祉農園を設置。地域資源として里山に自生している樹木（ガマズミ、ナツハゼ）を植栽。収穫した果実はゼリーに加工、販売。



取組の成果・ 今後の展望

関係人口の更なる創出と外部人材による農作業（学生の草刈り援農隊）の体制整備。福祉農園を活用した「青空デイサービス」の実施。現在進行中の農地整備事業と併せた営農計画の策定と福祉施設への食材供給体制の構築。



令和元年 連携8団体との 協働によるビジョンの策定

「地域のあるべき姿」を模索する中で、岩手県立大学や花巻市等の連携が生まれ、WSや研修会を重ね令和元年に「農村版地域包括ケアシステム構築ビジョン」を策定。



平成28年からドローンを活用した景観点検を実施。

農林水産省「農山漁村振興交付金」を活用。

平成26年～ 生活課題解決 に向けた取組

一人暮らしの高齢者などへ福祉農園の食材を活用した配食サービスを実施。通院や買い物などの足の確保の訴えから、自動車による買い物等への付き添い支援を社会実験（平成28年～平成29年）。平成30年以降は花巻市事業により継続。付き添い支援や配食サービスが高齢者の見守り活動としても機能。



基本情報

組織名：高松第三行政区ふるさと地域協議会
連絡先：090-4638-9764（事務局長（熊谷））

所在地：岩手県花巻市高松
視察の受入：可能（有料）日程により対応できない場合があります。